

## 放流効果調査事業（キツネメバル）

村松里美・鈴木亮・高橋進吾

### 目 的

第7次栽培漁業基本計画の技術開発対象種となっているキツネメバルの放流技術開発に取り組む。

### 材料と方法

#### 1. 種苗放流

青森県栽培漁業振興協会が同施設で種苗生産・中間育成した当歳魚に、標識として腹鰭抜去を施し、深浦町北金ヶ沢漁港に放流した。

#### 2. 放流効果調査

放流効果を調べるため、2020年2月～2021年1月に、深浦町北金ヶ沢市場及び鰯ヶ沢市場に水揚げされたキツネメバルの標識（腹鰭抜去）の有無を確認した。

### 結果と考察

#### 1. 種苗放流

（公社）青森県栽培漁業振興協会が種苗生産し左腹鰭抜去を施した平均全長87mmの当歳魚13,200尾を2020年10月28日に深浦町北金ヶ沢漁港内に放流した。これまでの放流では、左右いずれかの腹鰭を毎年交互に抜去し放流年の識別の指標としてきている（表1）。

表1 これまでのキツネメバルの放流結果

放流月日	放流場所	平均全長 (mm)	放流尾数 (尾)	うち 標識尾数	標識部位 (腹鰭抜去)	中間育成方法 (実施海域)
2010/11/19	北金ヶ沢漁港	67	9,850	2,400	右・腹鰭	網生簀(日本海)
2011/10/27	北金ヶ沢漁港	69	5,800	5,800	左・腹鰭	網生簀(日本海)
2012/10/18	北金ヶ沢漁港	67	5,500	1,500	右・腹鰭	陸上水槽(日本海・陸奥湾)
2013/10/10	北金ヶ沢漁港	67	10,000	10,000	左・腹鰭	陸上水槽(太平洋)
2014/10/10	北金ヶ沢漁港	71	10,000	10,000	右・腹鰭	陸上水槽(太平洋)
2015/11/18	北金ヶ沢漁港	67	10,000	10,000	左・腹鰭	陸上水槽(太平洋)
2016/11/21	北金ヶ沢漁港	67	10,000	10,000	右・腹鰭	陸上水槽(太平洋)
2017/10/19	北金ヶ沢漁港	76	10,000	10,000	左・腹鰭	陸上水槽(太平洋)
2018/10/22	北金ヶ沢漁港	77	10,000	10,000	右・腹鰭	陸上水槽(太平洋)
2019/10/21	北金ヶ沢漁港	72	12,000	12,000	左・腹鰭	陸上水槽(太平洋)
2020/10/28	北金ヶ沢漁港	87	13,200	13,200	右・腹鰭	陸上水槽(太平洋)

#### 2. 放流効果調査

2020年2月～2021年1月に市場に水揚げされたキツネメバル計979尾について、標識（腹鰭抜去）の有無を確認したところ、標識魚の再捕は確認できなかった。

表 2 放流年ごとの回収率

再捕年	放流年 放流尾数 (鰭抜去)	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
2013		1										
2014			1									
2015												
2016				1								
2017					1	2						
2018					2		1	1				
2019							1					
2020												
合計		1	1	1	3	2	2	1	0	0	0	0
回収率(%)		0.04	0.02	0.07	0.03	0.02	0.02	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00

2013年以降は継続して10,000尾以上を標識(腹鰭抜去)放流できていることから(表1)、引き続き市場調査による放流効果の推定を行う。また、2017年以降、標識魚の再捕が確認されていないため、北金ヶ沢市場以外の日本海側の市場での調査も必要であると考えられた。